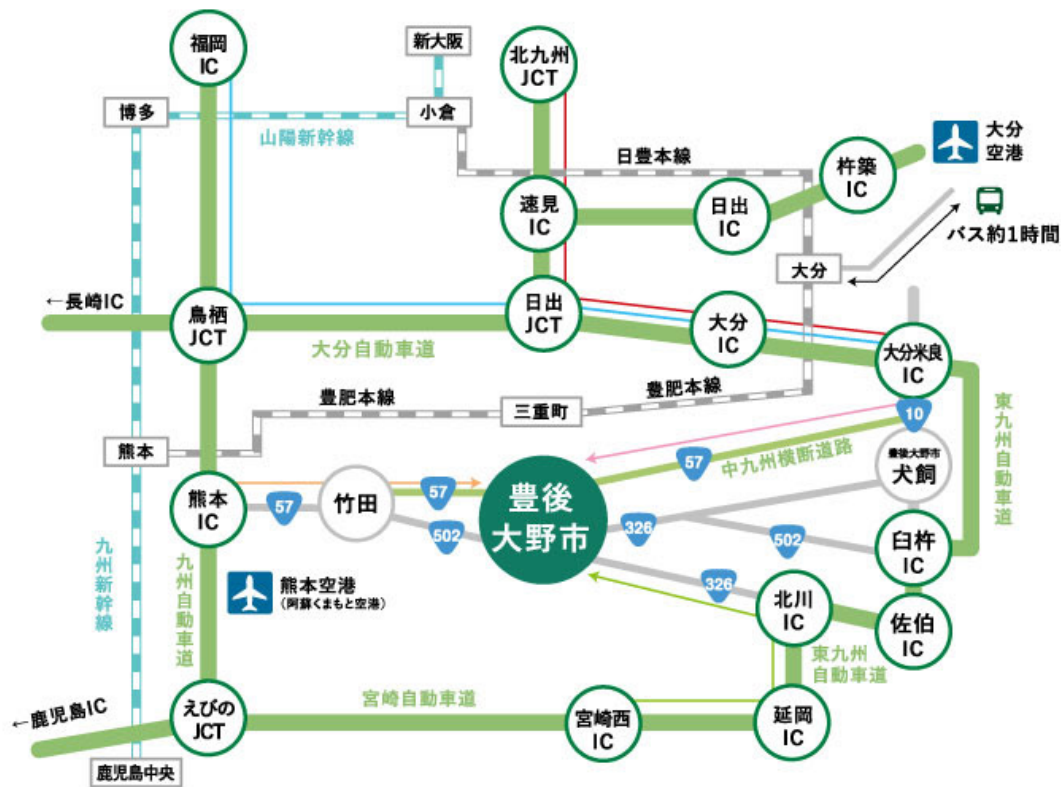
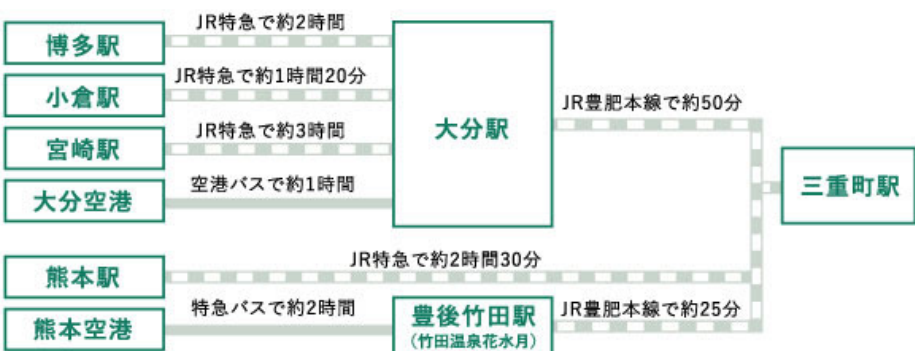


豊後大野市までのアクセス



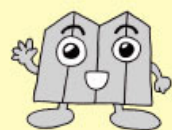
公共交通機関 (各見どころは三重町駅ほかJR豊肥本線沿線に点在しています。)



車



おおいた豊後大野ジオパーク
公認キャラクター



柱状節理くん



コラミちゃん

兄の「柱状節理くん」と妹の「コラミちゃん」です。コラミという名前は、柱のことを英語でコラムということから名付けられました。

お問い合わせ

おおいた豊後大野ジオパーク
推進協議会 (豊後大野市商工観光課内)
〒879-7198
大分県豊後大野市三重町市場1200番地
TEL.0974-22-4089
<https://bungo-ohno.com/>



おおいた豊後大野ジオパークガイド

ガイドはおまかせください!

ガイドのお申込み・お問い合わせは
おおいた豊後大野
ジオパークガイド事務局
TEL.080-2708-7809



発行:2024年3月

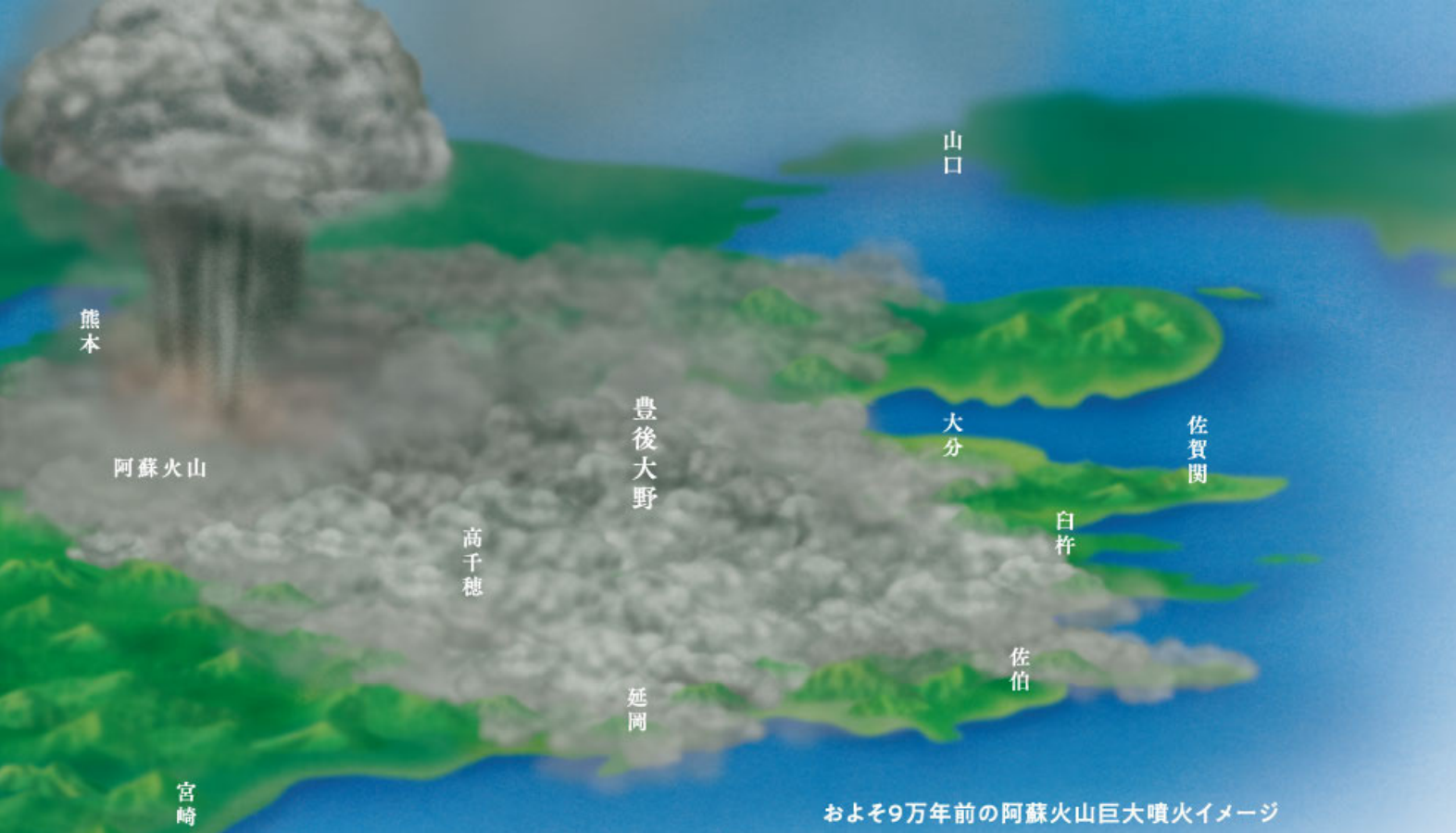
おおいた 豊後大野 ジオパーク ガイドブック

OITA BUNGOONO GEOPARK



よみがえる大地の物語





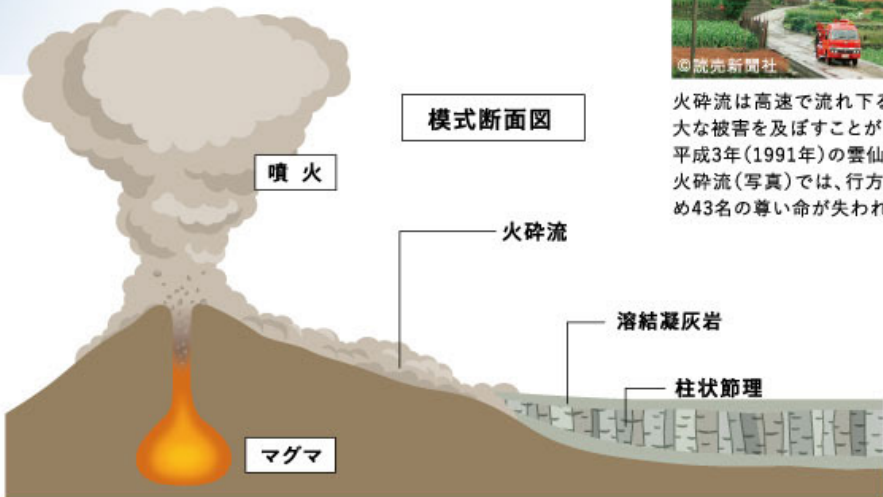
およそ9万年前の阿蘇火山巨大噴火イメージ

巨大火砕流が生み出した豊後大野の大地

今からおよそ9万年前、阿蘇火山（現在の阿蘇カルデラ）がとてつもない規模の巨大噴火を起こしました。発生した火砕流は九州の大半を覆い尽くし、遠くは本州の山口県に到達するほどのものでした。火砕流はやがて冷えて固まり、豊後大野の大地を作り上げました。

火砕流

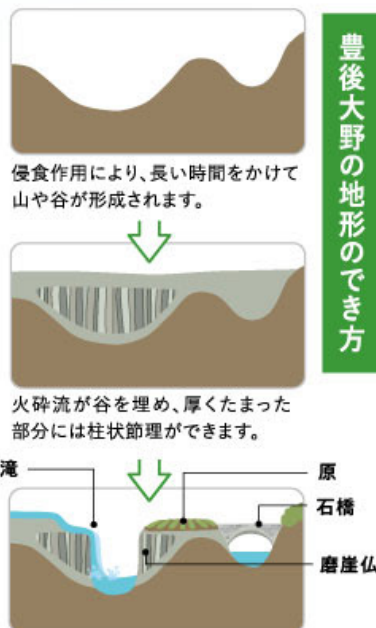
火砕流とは、高温の軽石や火山灰、火山ガスなどが入り混じって、高速で流れ下る現象です。そのスピードは時速100kmを超えることもあります。火砕流は厚くたまと自らの熱で一度溶け、再び冷えて固まります。こうしてできた岩石を溶結凝灰岩と呼びます。



模式断面図



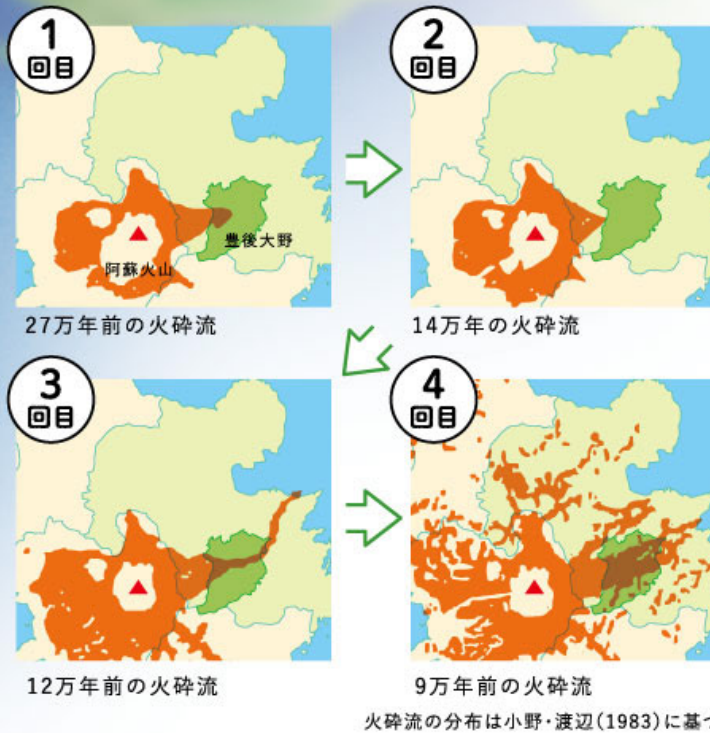
火砕流は高速で流れ下るため、甚大な被害を及ぼすことがあります。平成3年(1991年)の雲仙普賢岳の火砕流(写真)では、行方不明を含め43名の尊い命が失われました。



ふたたび谷が削られ、柱状節理には滝が形成され、崖には磨崖仏が、深い谷には石橋が造られました。また削り残された台地は「原(はる)」と呼ばれ、耕作地に利用されています。

阿蘇火山の過去4回の巨大噴火

阿蘇火山は過去4回にわたって巨大噴火を起こしています。このうち3回目と4回目の巨大噴火による火砕流が、豊後大野にも到達しています。4回の噴火によって火山は陥没し、現在の阿蘇カルデラができました。



火砕流の分布は小野・渡辺(1983)に基づく



岩戸の景観 阿蘇火山の3回目と4回目の火砕流が上下に重なっているのがわかります。

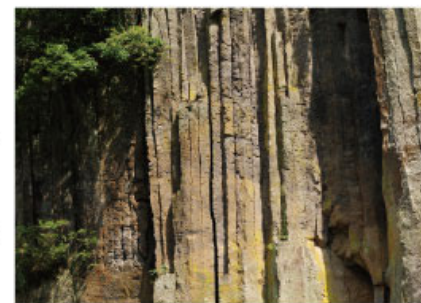


溶結凝灰岩

火砕流は自らの熱で溶け、中に含まれる軽石はペチャンコに押しつぶされてしまいます。写真で黒く見えるスジは、軽石が溶けてガラス状になったものです。

柱状節理

高温の火砕流が冷えて固まる際、体積が収縮するため、縦にたくさんのひびわれがはいます。このひびわれは柱を束ねたように見えるので、柱状節理と呼ばれます。



おおいた豊後大野ジオパークのテーマ

巨大火砕流から9万年 生命をつむぐ豊後の水と大地の彩り

豊後大野の大地は、今からおよそ9万年前に起きた阿蘇火山の巨大噴火による火砕流に埋め尽くされました。その後、やがてそこに水が流れ、命が生まれ、豊かな大地がよみがえりました。水と大地は命あるすべての源であり、そこで営まれる「生活=いのちき*」とともに支え合い、繋がっています。そのことを「彩り」という言葉で表現しました。

*生業、生活を意味する大分方言

巨大火砕流の痕跡

P4

あらぶる大地の記憶

滝



過去2回の阿蘇火砕流は、豊後大野の大地を広く覆い、やがて冷えて溶結凝灰岩となりました。その柱状節理は縦に細長く割れるため、目をみはる滝や絶壁ができました。

豊かな水と自然

P6

ふりそそぐ恵み

渓谷



火砕流に覆われた大地には再び水が流れ、緑あふれる大地がよみがえりました。豊後大野の大地は、九州屈指の河川である大野川を中心に、自然豊かな地域となっています。

石への祈り

P8

たかまる人々の想い

磨崖仏



豊後大野にはたくさんの磨崖仏が分布しています。これらの多くは、火砕流が冷えて固まった溶結凝灰岩のうち、比較的加工しやすい部分を選んで彫られています。

大地に育まれた歴史と文化

P10

人と自然の共作

石橋



火砕流には深い谷が刻まれたため、往來には丈夫な橋が欠かせないものとなりました。人々は豊富にあった溶結凝灰岩を利用し、日本一の数のアーチ式石橋を架けました。

巨大火砕流の痕跡



原尻の滝

はらじりのたき

平地に突然現れる東洋のナイアガラ

大野川の支流、緒方川にかかる滝で、幅は約120m、高さは約20mあります。およそ9万年前の阿蘇火山の4回目の巨大噴火による火砕流が冷えて固まった溶結凝灰岩が崩落してできました。滝の上流にある鳥居は、緒方三社のうちの二宮社の鳥居で、毎年、川越しまつりの際に神輿がこの鳥居をくぐります。



MAP A-1

あらふる大地の記憶

9万年前と12万年前の2回の阿蘇火砕流は、豊後大野の大地を広く覆い、やがて冷えて溶結凝灰岩となりました。その柱状節理は縦に細長く割れる性質があり、それが崩落することで、目をみはる滝や絶壁ができました。こうしてできた滝や絶壁は豊後大野の観光名所になっています。



沈墮の滝

ちんだのたき

雪舟も描いた名瀑

沈墮の滝は、大野川の本流にかかる雄滝と、支流の平井川にかかる雌滝からなります。雄滝は幅約100m、高さは約20mあります。室町時代に雪舟がここを訪れ、「鎮田瀑図」を描いたことでも有名です。明治時代に建てられた発電所の跡も残されています。



MAP A-2

滝のでき方



火山から流れ出した火砕流で、谷は埋め尽くされます。



谷には再び川が流れ、徐々に地面を削っていきます。



やがて谷底に現れた柱状節理は縦に細長く割れるため、そこが滝となります。



岩戸の景観

いわどのけいかん

二層の火砕流が重なる鉄道ファンの聖地

大野川と奥岳川の合流点にそびえる絶壁を「岩戸の景観」と呼んでいます。崖の下半分は阿蘇火山の3回目の巨大噴火の火砕流、上半分が4回目の巨大噴火による火砕流でできています。崖のまん中にJR豊肥本線のトンネルが掘られており、鉄道写真の絶好の撮影ポイントとなっています。



MAP A-3

高さ70mにおよぶ柱状節理の絶壁

滞迫峡は奥岳川沿いの峡谷で、両側を柱状節理の発達した溶結凝灰岩の絶壁で囲まれています。崖の高さは70mにおよびます。谷底にはおよそ1500万年前の火山活動でできた岩石が露出しています。少し上流には、火砕流で蒸し焼きになった炭化木が埋もれた洞窟もあります。



MAP A-4



滞迫峡

たじやく

松尾の埋没木

まつおのまいぼつぼく

火砕流で蒸し焼きになった巨木

旧三重南小学校(現あかい屋根の郷)の校庭に保存されている木の幹は、近くの沢の谷底に埋まっていたものです。阿蘇火山からの火砕流は山を越え、木々をなぎ倒して流れ下りました。なぎ倒された木は火砕流に埋められ、蒸し焼きにされました。そのため木の表面は黒く炭になっています。



MAP A-5



ふりそそぐ恵み

火砕流に覆われた大地には再び水が流れ、緑あふれる大地がよみがえりました。豊後大野の大地は、九州屈指の河川である大野川を中心に、貴重な動植物が生息する祖母・傾山系から、里山の風景が広がる農村地帯まで、自然豊かな地域となっています。



川
上
溪
谷
かわかみけいこく

江内戸の景

えないどのけい



MAP B-4

大野川がもたらした豊かな大地
九州屈指の河川である大野川は、阿蘇火砕流で埋め尽くされた大地を侵食し、両側に平坦な土地を生み出しました。「道の駅みえ」から眺められる風景は「江内戸の景」と呼ばれ、豊かな穀倉地帯をゆったりと流れる大野川を望むことができます。

深い緑に包まれた豊後大野の奥座敷

川上溪谷は奥岳川の最上流部にあたり、春は新緑、夏は避暑、秋は紅葉と、季節を問わず楽しめます。河床には白っぽい花崗岩が露出し、深い森林とのコントラストを際立っています。また絶滅危惧種に指定された珍しい植物も自生しています。



MAP B-1

山頂からの360度の大パノラマ

御嶽山は標高568mの山ですが、山頂からの眺めはすばらしく、豊後大野を一望することができます。山頂の岩は太平洋の海底に堆積したプランクトンが固まったチャートと呼ばれる岩石で、プレートの動きによって日本列島に掃き寄せられたものです。また御嶽神楽の発祥の地でもあります。



MAP B-5

御嶽山

おんだけさん



ユネスコエコパークに選ばれた生物の宝庫

日本百名山の一つである標高1,756mの祖母山から、古祖母山、本谷山を経て傾山に至る稜線は、急峻な岩壁がそびえ立つ独特な景観となっています。春にはアケボノツツジが咲き乱れ、特別天然記念物のニホンカモシカが生息するなど、生物の宝庫としてユネスコエコパークにも登録されています。

MAP B-2

祖母・傾山系

そぼ・かたむきさんけい



手取蟹戸

てとりがんど



蟹も歩けない急な流れ

手取蟹戸は大野川の急流で、およそ1億年前に海の底で堆積した大野川層群という地層が露出しています。地層は地殻変動で大きく傾き、戸板を立てたように見えます。流れが急で、蟹も流されないように岩の上を歩くため、その蟹を手で取ることができることから名づけられたと言われています。



MAP B-3

ホタルの飛び交う清流の溪谷

白山溪谷は日本名水百選に選ばれた清流で、夏はホタルが乱舞することでも知られています。川沿いには阿蘇火砕流の柱状節理が見られ、変化にとんだ景観となっています。また途中には阿蘇火砕流によって水没したとされる溜積水中鍾乳洞があります。



MAP B-6

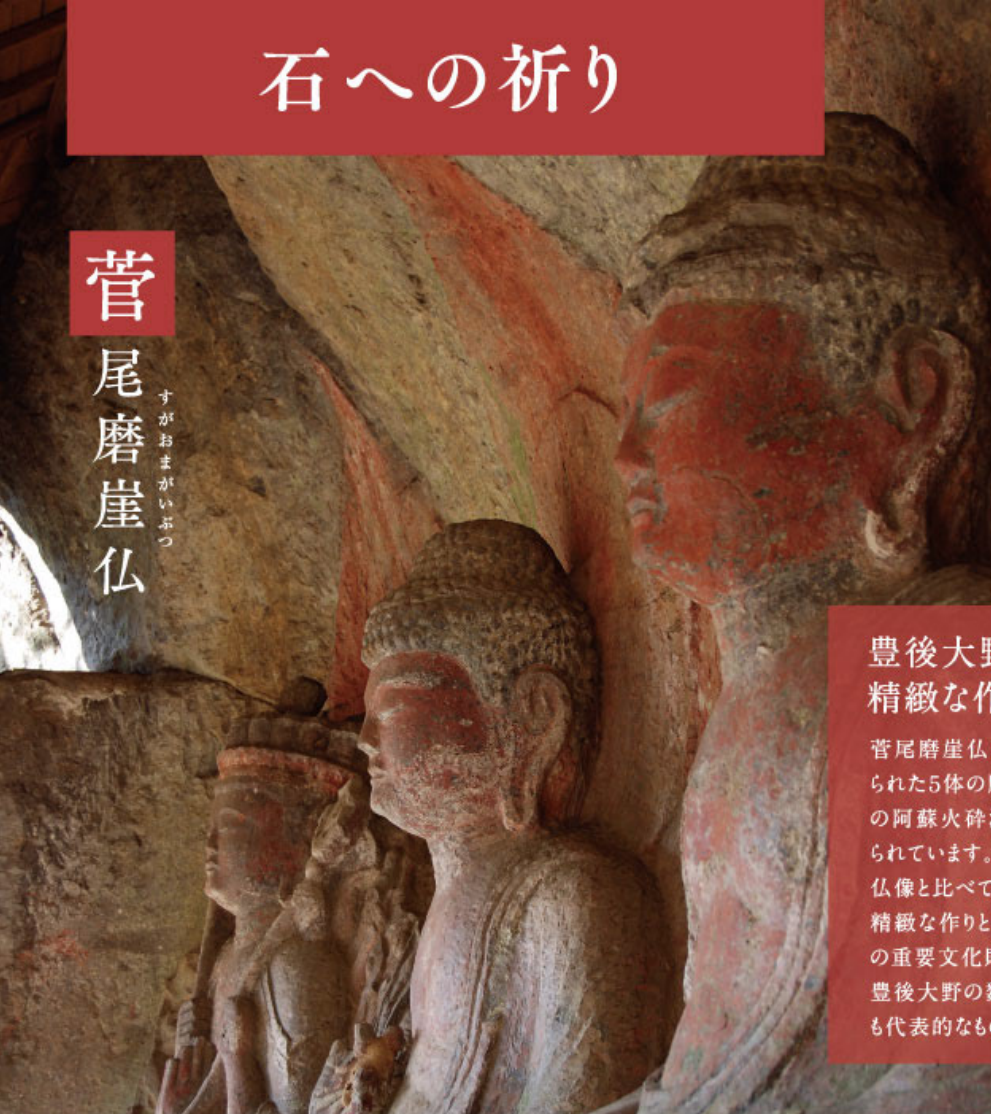


白
山
溪
谷
はくさんけいこく

石への祈り

菅尾磨崖仏

すがおまがいはつ



たかまる人々の思い

磨崖仏とは崖に直接彫られた石仏のことで、豊後大野は全国的にみても磨崖仏がきわめて多い地域となっています。これらの多くは、火砕流が冷えて固まった溶結凝灰岩のうち、柱状節理がなく比較的加工しやすい部分を選んで彫られています。

豊後大野を代表する精緻な作りの磨崖仏

菅尾磨崖仏は平安時代後期に作られた5体の磨崖仏で、約9万年前の阿蘇火砕流の溶結凝灰岩に彫られています。京都や奈良の木造の仏像と比べても遜色のない、非常に精緻な作りとなっていることから、国の重要文化財に指定されています。豊後大野の数多くの磨崖仏の中でも代表的なものです。



MAP C-1

普光寺磨崖仏

みこうじまがいはつ



あじさいに囲まれた日本最大級の磨崖仏

普光寺の境内に彫られた磨崖仏は、台座を含めた高さが約11mで、国東半島の熊野磨崖仏とともに日本最大級の磨崖仏です。豊後大野の多くの磨崖仏が約9万年前の阿蘇火山の4回目の火砕流が固まった溶結凝灰岩に彫られているのに対し、この磨崖仏は約12万年前の3回目の火砕流の溶結凝灰岩に彫られています。



MAP C-4

つわものどもが夢の跡

東西2カ所に彫られた磨崖仏で、いずれも阿蘇火砕流の溶結凝灰岩に彫られており、平安時代後期の作と推定されています。この地域には源平の合戦で活躍した緒方三郎惟栄が統治していた荘園があったと言われており、磨崖仏の造営には緒方三郎惟栄が大きく関わっていたことが推測されます。



MAP C-2

宮迫東・西石仏

みやごひがし・にしせきぶつ



神聖な巨大文字

社殿の裏の岩壁は約9万年前の阿蘇火砕流の溶結凝灰岩で、大きく「熊野宮」の文字が彫られています。崖の下からは地下水がこんこんと湧き出し、磨崖仏と同様にこの場所が神聖な場所として信仰の対象になったことがうかがえます。



MAP C-3

異様な顔つきの磨崖仏

お面をつけたような一種異様な顔つきの磨崖仏は、岩の表面に麻などの繊維を混ぜた粘土を貼り付けて作られたものです。この岩は約60万年前に、今の由布岳あたりにあった火山から流れてきた火砕流が固まったもので、非常にもろいため、このような姿になったと考えられます。



MAP C-5

大迫磨崖仏

おおさこまがいはつ



犬飼石仏

いぬかいせきぶつ

歌人も訪れた温和な不動明王

犬飼石仏は、約9万年前の阿蘇火砕流の溶結凝灰岩に彫られた磨崖仏で、像の形式から鎌倉時代に作られたと推定されています。不動明王にありながら温和な顔つきが印象的です。歌人の与謝野晶子がこの地を訪れ、詠んだ短歌の歌碑があります。



MAP C-6

柴北熊野社

しばきたくまのしゃ



出会橋・轟橋

であいばし・とどろばし



日本一と二位の石橋の共演

轟橋は昭和9年に森林鉄道の橋として架けられた2連のアーチ式石橋で、広いほうの径間(アーチの幅)が32.1mと日本一を誇ります。一方、出会橋は大正13年に架けられ、径間が29.3mと日本第二位です。下を流れる奥岳川の兩岸には、阿蘇火砕流の溶結凝灰岩からなる見事な柱状節理が見られます。



MAP D-1

人と自然の共作

豊後大野の人々は、阿蘇火砕流に刻まれた深い谷を渡るために、豊富に存在する溶結凝灰岩を利用して石橋を築くとともに、川を交通路として利用するための水路や港を造りました。また自然の地形を利用してさまざまな文化が芽生えました。

殿様も利用した豊後大野の玄関口

犬飼港は、江戸時代の初めごろに造られた川港です。当時、大野川の上流に領地のあった岡藩は、下流の三重町付近が白杵藩の領地であったため、この犬飼までは陸路を移動し、ここから船で大分方面に向かっていました。河床には切り立った硬い地層が露出していたため、溶結凝灰岩の切り石を平らに敷き詰めています。



MAP D-4

犬飼港跡

いぬかいみなとあと



虹澗橋

こうかんきょう

商人によって架けられた美しい橋

谷を渡る虹のような橋という意味で、江戸時代の後期、文政7年(1824年)に完成しました。当時としては日本最大の石橋で、白杵藩であった三重の町と白杵城下を結ぶ街道の難所を克服するため、地元の豪商が資金を出し合って建造しました。堅牢かつ美しい石橋で、国の重要文化財に指定されています。



MAP D-5



辻河原石風呂

つじがわらいし風呂



MAP D-2

岩壁を利用した癒しと信仰の融合

石風呂とは岩穴の中に蒸気を充満させて入浴する蒸し風呂の一種です。約12万年前の阿蘇火山の3回目の火砕流の溶結凝灰岩に、崖の形をうまく利用して造られています。崖には阿弥陀如来を表す梵字が彫られており、仏教に関わる施設であったことがうかがえます。

神角寺

じんかくじ



市内一望の天下の絶景

神角寺は千年以上の歴史を持つ古刹です。約1,500万年前の溶結凝灰岩の柱状節理からなる尾根上に立地しているため、大変眺めがよく、そのためしばしば戦いの拠点としても利用されてきました。境内にはたくさんのシャクナゲが植えられており、シーズンには多くの見物客でにぎわいます。



MAP D-3

蝙蝠の滝

こうもりのたき

大野川本流にかかる高さ約10mの滝で、こうもりが翼を広げているように見えることから名づけられたと言われています。明治時代、大野川に舟を通して物資を輸送するために、この滝を迂回する水路と、舟を上げ下げするすべり台のような樋が造られました。



MAP D-6



ジオ×食

「原」がもたらす美味しいめぐみ

火砕流に埋め尽くされた大地には、やがて川が流れ、川の侵食により谷が刻まれました。侵食からとり残されたところは、「原」と呼ばれる平坦な台地となり、豊後大野の地形の大きな特徴となりました。この台地に人々は水を引き、広大な畑をつくり、美味しいめぐみを育む土壌を作り上げたのです。そして今、豊後大野は良質な農産物を育む「大分の野菜畑」として、大分県や近隣の豊かな食文化を支えています。

農産品



叡智がつくった肥沃な土壌

豊後大野市西部に位置する緒方町では、あちこちに水路や水車がみられます。火砕流がつくる谷と大地が入り組む地形にあって、かつてはじゅうぶんな水を確保するのは至難の技でした。先人たちは「緒方井路」を整備し、このあたりを豊かな水田が広がる「米どころ」にしたのです。2023年3月に、こうした農村景観が国の重要文化的景観に選定されました。

土地に適した作物にみぎきをかける

豊後大野市三重町の芦刈地区では、古くからカンショ(さつまいも)の栽培が盛んでした。受け継がれてきたこの地に適した作物を未来につなげるためには、より美味しくみぎきをかけることが必要不可欠です。芦刈地区では昼夜の気温差で甘く育ったカンショを貯蔵庫で保存することで、年間を通してより甘く全国の消費者に届けることを可能にしています。

未来に
つなぐために



農事組合法人 芦刈農産
芦刈義臣さん

農林水産大臣賞を受賞した、豊後大野市を代表する農事組合法人の代表理事組合長

今に息づく幸せ



加工品

素材を活かした逸品たち

野菜や穀類のほかにも、豊後大野ならではの環境を活かした加工品が数多くあります。なかでも、山間で育まれる原木栽培椎茸の乾しいたけは、豊かな味や香りが魅力。祖母山に源を発し、大分県最大の河川である大野川の美しい流れが育む鮎が原料の「鮎うるか」や、清川町の特産品「もも」をまるごと絞った贅沢なジュースも絶品です。



原木乾しいたけ



ももジュース



鮎うるか



料理

道の駅で出会える豊後大野グルメ



道の駅あさじ
絶品あさじん井

「朝地牛」のサーロインをつかった芳醇

大分県内で最も長く肥育された36ヵ月齢未満の黒毛和種のうち肉質等級2等級以上のものだけが「おおい豊後牛」と呼ばれます。「朝地牛」とは豊後大野市朝地町産の「おおい豊後牛」の通称で、年間出荷量120頭ほど。全国トップレベルの品質を誇る希少な「朝地牛」を堪能できる逸品です。

発酵食品



麹をつかった発酵食の文化が現在に息づいているのも、豊後大野の特徴です。酒まんじゅうは発酵食品でいたみにくい^{こびり}ため、農業がさかんなこの地区では古くから農作業の合間に食べる「小屋」と呼ばれるおやつとして親しまれてきました。市内には専門店が数多くあるほか、道の駅や農産物直販所などで売られています。

酒まんじゅう

道の駅まかわではその日に仕込まれた2種類のできたまんじゅうが早朝から店頭にならびます。見た目はあまり変わらない酒まんじゅうですが、その味には加工所によって伝統的に受け継がれてきた特徴があります。



酒・焼酎

良質な米と麦を原料にした酒づくりがさかん。市内には日本酒の蔵が2蔵、焼酎の蔵が2蔵あり、どの蔵も全国的に高い評価を得ています。



食べ継がれてきた家庭の味

古くからこの地に受け継がれてきた郷土料理「だんご汁」を地産の漬物などの小鉢とともに。



道の駅原尻の滝
だんご汁定食

道の駅みえ
おやコロバーガー

ふんわり甘い、新名物
さといものコロッケだけでなく野菜からパンズまで、オール食材豊後大野市産。2017年に別府大学との共同開発でうまれました。



道の駅おおの
豊のしゃも親子丼

広大な台地が育む旨味
大野町の「豊のしゃも」の味と品質は、全国の一流料理人に選ばれる折り紙つき。



豊後大野ジオパーク MAP

よみがえる
大地のものがたり



道の駅 原尻の滝



大分県豊後大野市緒方町原尻936番地1
☎0974-42-4140
P190台 9:00~17:30(季節時間有)
とれたての農産物や加工品などの特産品が並び、ふるさとメニューが揃うレストランはスペースも広く、ゆっくりくつろげる。

道の駅 おおの



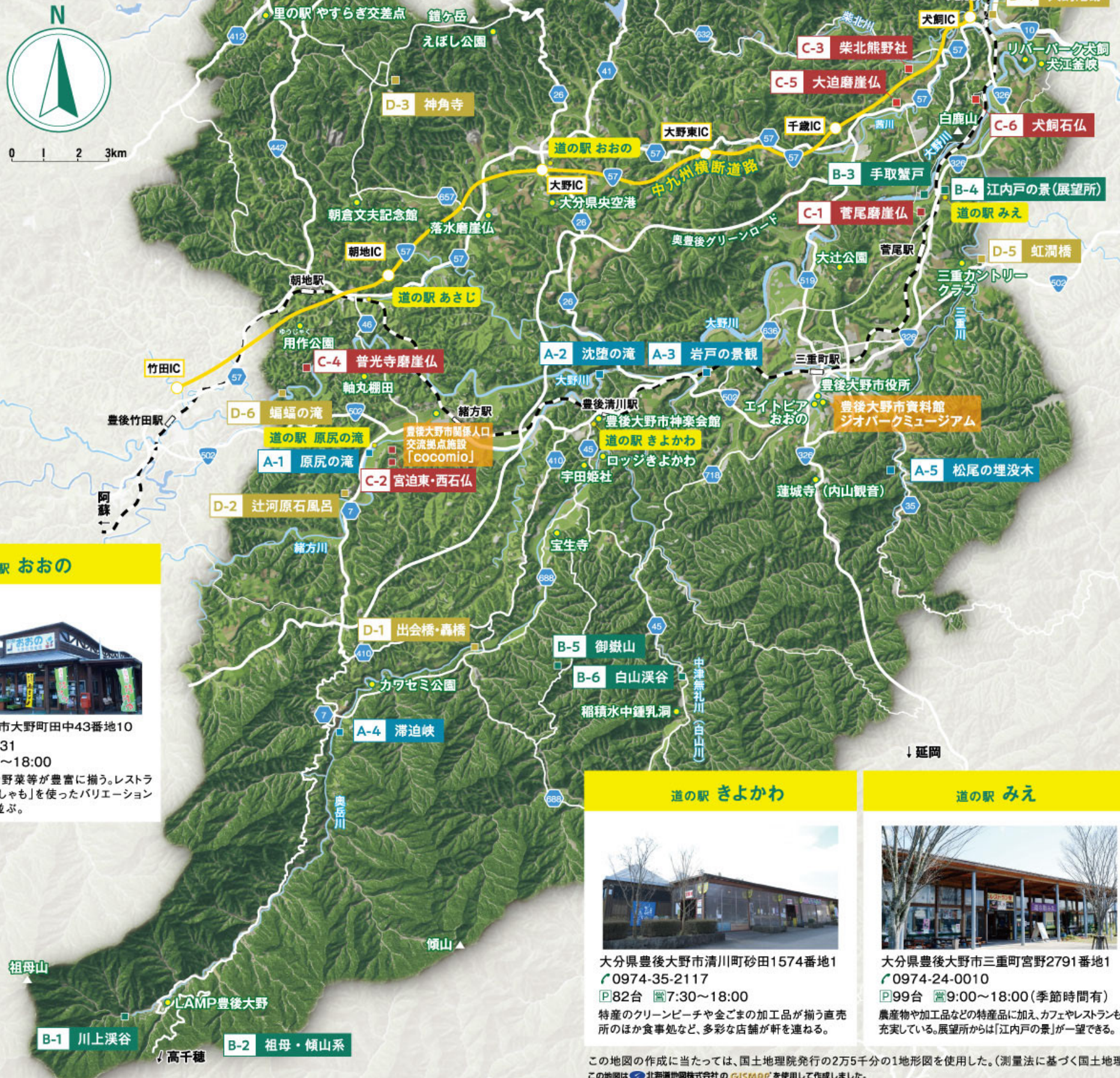
大分県豊後大野市大野町田中43番地10
☎0974-34-3231
P82台 9:00~18:00
手作りまんじゅうや野菜等が豊富に揃う。レストランでは地鶏「豊のしゃも」を使ったバリエーション豊かなメニューが並び。

豊後大野市関係人口交流拠点施設「cocomio」



大分県豊後大野市緒方町下自在172番地
☎0974-27-4115
9:00~20:00
休月曜日(祝日の場合は翌平日)
P7台

コワーキングスペースとカフェが併設されているゲストハウス。旅の拠点として、またワーケーションを目的として落ち着いた雰囲気の中で利用できる。かつて歴史民俗資料館として親しまれた施設でもある。



A 巨大火砕流の痕跡 P4・5
A-1 原尻の滝 A-2 沈墜の滝 A-3 岩戸の景観 A-4 滞迫峡 A-5 松尾の埋没木
B 豊かな水と自然 P6・7
B-1 川上溪谷 B-2 祖母・傾山系 B-3 手取蟹戸 B-4 江内戸の景 B-5 御嶽山 B-6 白山溪谷
C 石への祈り P8・9
C-1 菅尾磨崖仏 C-2 宮迫東・西石仏 C-3 柴北熊野社 C-4 普光寺磨崖仏 C-5 大迫磨崖仏 C-6 犬飼石仏
D 大地に育まれた歴史と文化 P10・11
D-1 出会橋・轟橋 D-2 辻河原石風呂 D-3 神角寺 D-4 犬飼港跡 D-5 虹瀧橋 D-6 蝙蝠の滝

おおい豊後大野ジオパーク拠点施設 豊後大野市資料館ジオパークミュージアム



豊後大野の大地の成り立ちや歴史・文化・産業の発展などについて深く知ることができる。
大分県豊後大野市三重町内田881番地
☎0974-24-0040
9:00~17:00 休月・祝 入館無料

道の駅 きよかわ



大分県豊後大野市清川町砂田1574番地1
☎0974-35-2117
P82台 7:30~18:00
特産のクリーンピーチや全ごまの加工品が揃う直売所のほか食事処など、多彩な店舗が軒を連ねる。

道の駅 みえ



大分県豊後大野市三重町宮野2791番地1
☎0974-24-0010
P99台 9:00~18:00(季節時間有)
農産物や加工品などの特産品に加え、カフェやレストランも充実している。展望所からは「江内戸の景」が一望できる。

道の駅 あさじ



大分県豊後大野市朝地町板井迫1018番地1
☎0974-64-1210
P92台 9:00~17:30
新鮮野菜から工芸品などの幅広い特産品が並び、レストランでは「朝地牛」を使ったメニューが味わえる。

この地図の作成に当たっては、国土地理院発行の2万5千分の1地形図を使用した。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R2JHs 66-GISMAP44145号) この地図は 北海道地図株式会社 の GISMAP を使用して作成しました。